

回覧

交通

第26号

すいしんたい

発行・金沢市街頭交通推進隊

「交通すいしんたい」の発行に寄せて



金沢地区交通安全協会連絡協議会会長

西山 勇

推進隊機関誌「すいしんたい」の発刊にあたりまして、金沢地区交通安全協会連絡協議会を代表し、ご挨拶申し上げます。

金沢市街頭推進隊は発足以来半世紀を超える長きにわたり、交通安全活動を主に事故のない安全で安心な社会の実現を目指して、日夜様々な活動に取り組んでいただいていることに改めて感謝申し上げます。

3年間に及ぶコロナ禍が、2類から5類に移行された今、習慣づいた日常生活の様式が元に戻ろうとしています。一方でデジタル化の推進により社会の様式が少しずつ改革されようとしています。



長期化しているロシアのウクライナ侵攻については言うまでもなく世界の経済社会に大きな衝撃を与えています。人類の平和を望まない人は一人もいないと思います。早期の和解と終息を願うものであります。

交通事故はなぜ起きるのでしょうか？起こしたい人はいいますか？しかし起きています。車社会は、交通機関の一部かもしれないですが、必要不可欠であります。しかも道路交通法という法律で定められたルールがあります。車も歩行者もこのルールを守ることによって、安全で事故のない社会が実現するのではないのでしょうか。基本的にルールを守らなければ事故が起きる可能性は高くなります。今年の県内の事故発生において、死亡事故が前年比で増加傾向にあります。何とか歯止めをかけたところがあります。基本に忠実にルールを守ることが大前提であり、加えて「マナー」と思いやりの精神があれば事故発生は、極めて減少すると願っています。

推進隊の皆様方には、県内全域各地区において年間を通して計画された様々な街頭活動のイベント等に参加され事故抑止はもとより防犯にも繋がる大きな役割を担っております。本年4月1日に自転車に乗車する人は、全ての年齢で「乗車用ヘルメットを着用するよう努めること」とされました。いわゆる「努力義務化」が改正道路交通法に盛り込まれ施行されました。近年自転車による事故が増加傾向にあります。

- 1. 自転車安全利用五則
- 2. 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 3. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 4. 夜間はライトを点灯
- 5. 飲酒運転は禁止
- 6. ヘルメットを着用

自転車のヘルメット着用につきましては、努力義務ではありませんが事故を未然に防ぐため非常に大きな対策であり、早期の義務化に向けて極めて重要な前進の一步ではないでしょうか。推進隊の皆様には街頭活動の中で事故に遭遇しないように周囲の状況を把握しながら十分注意されますようお願いいたします。終わりに、推進隊の皆様様の益々のご発展と心からのご健勝とご活躍をお祈りいたします。



「ハイトタッチ」に励まされた三十年

金沢中街頭交通推進隊
兼六支隊長



勝野源憲

金沢中隊だよ

三人の子宝に恵まれ家が手狭になり、今の家に引っ越し、今の家に引っ越し、町会長さんから街頭交通推進隊をやってみよう、と話しかけられました。内容も理解しないまま、時間に拘束されない仕事だったこと、我が子がこれから地域の世話になるのだから、という思いで承諾し今年で三十年を迎えました。北陸の厳しい自然に立ち向かって、ただひたすら子ども達の安全のために街頭に立つのは正直辛い日もありました。唯一救われたのは、登校する児童達の笑顔と「ハイトタッチ」をすることで。コロナ禍ではグータッチでしたが、最近元のハイトタッチに戻り、「おはよ

う。気を付けて。」の声掛けとスキンシップに元気が貰っています。その子どもが成長して中学生になると、さすがにハイトタッチはなくなり、片手にスマートフォンを握った高校生は私の姿を見つけるとサッと隠し、ペコッと頭を下げて行きます。社会人になった大人達には「ご苦労様。」と声を掛けてくれます。このような素晴らしい時を感じ、生かされていることに推進隊員になって良かったと思う日々です。最近、交通事情は目まぐるしく変化しています。私が立っている田井町交差点では兼六園下の道路整備が完了したためか、山側環状道路から市内へ向かう大型観光バスが増えました。バスの陰から急に現れる車や、まして

子ども達の横断して来る姿を見つけた時にはヒヤリとさえします。一方、市民ドライバーの中には見ず知らずの私に会釈される方もいれば、止まれる旗を振り切って



金沢中街頭交通推進隊
中村支隊長

三好公一

いくドライバーもいます。こうしたドライバーがいる限り、引き続き、交通安全意識の高揚と交通事故の根絶に向けて、微力ながら街頭活動に取り組みたいと思っています。

できることを、できる時に、できるだけ

私が推進隊に入隊したのは会社勤めを辞め家業に入った時でした。当時の支隊長が父の友人であり、長男の小学校入学時期でもあったので「子ども達のためには何か。」とお誘いを受け、地域のために少しでもお手伝い出来れば、と思いき受けました。それから早いもので二十年以上が経ちました。小学校の育友会活動の傍ら、当時の吉田支隊長や諸先輩方のサポートを受け、中署管内では最後になった見守り隊発足や通学路の安全指導、三年生

の自転車教室等、仕事と両立しながらお手伝いしてきました。昨年一月に中川支隊長が急逝され、昨年度より支隊長の命を受けました。それまでは何となく活動に参加していました。支隊長となり、推進隊としての責任の重さを改めて感じ、地域の宝である子ども達の交通安全にこれまで以上に尽力してきました。中村校区には、交通量が大幅に増加し、西インター大通りと昭和大通りの2本の大通りがあり、道幅の狭い道路も多く、子ども達の通学路には危険が多々あります。また、比較的広い歩道であったりも自転車と歩行者が一緒に通るため危ない光景をよく見かけます。車に限らず自転車の方も安全運転、思いやりのある運転に気を付けてほしいものです。日頃、登校時の子ども達の元気な「おはようございます。」の声で(コロナ禍もあり最近少ないですが)私も元気をもらっています。中村支隊では各隊員が担当場所で朝の通学路の安全指導を実施している

自分の健康管理のために頑張る

金沢中街頭交通推進隊
富樫支隊長



開敷一雄

私は下校時、富樫小学校前の横断歩道に立ちます。子ども達には、まず「おかえり。」と声を掛けます。子ども達から、元気な声で「ただいま。」とか、

反対方向に帰る子からは「さようなら。」と声が返ってきます。中には「いつもありがとうございます。」という言葉もあります。子ども達は横断歩道を渡りきった所でよく走り

ほか、交通安全運動中や、それ以外の期間にも月一回増泉交差点で赤ランプ作戦を行っています。何分にも隊員全員が仕事を持っており、活動が制限されますが、「できることを、できる時に、できるだけ」のボランティア精神で活動しています。今後も、ドライバー、自転車や歩行者の皆さん、子ども達の交通安全意識の向上、そして、悲惨な交通事故による被害者や加害者を出さないように、微力ながら推進隊の活動を続けていきたいと思っています。

ます。中には転ぶ子どももいます。

膝を擦りむいて出血したりする事もあります。そういう時は近くに児童館があるので、「児童館へ行行って先生に手当してもらいなさい。」と言います。

また、横断歩道を渡っている途中、青信号が点滅し始めると引き返す子どもがいます。

その場では注意しませんが、後で「渡る途中で青信号が点滅した時は、渡りきった方がよいよ。」と教えてあげます。

渡る前に点滅した場合「止まって次の青信号を待ちなさい。」と言います。

横断歩道を渡り切ってから、窪方向に二〇メートルほど歩いて、横断歩道のない道路で向かい側にいる友達に「〇〇君、早くこっちに渡ってきて。」と声を掛けた子どもがいました。

声をかけられた子どもは安全確認も何もせず、慌てて向かい側へ渡ろうとして車にはねられ、交

通事故になったことがあります。

その時は、幸いにも大事に至らず胸を撫で下ろしました。

毎日、事故が無くなるように、子ども達の安全安心を願いながら、街頭に立っております。

自分の健康管理のためにも、これからも続けられるだけ続け、交通安全や交通事故防止に尽力していきたいと思えます。



信頼される推進隊を目指して



金沢東街頭交通推進隊 副隊長

小坂 俊 広

金沢東街頭交通推進隊の副隊長に就任しました小坂です。

所属は、此花支隊で支隊長兼任で活動していくことになりました。

当初、副隊長就任のお話があった時に責任ある立場になることに困惑

しましたが、今年に入り、私の住む地域の住民が歩行中に車と衝突し、死亡する悲惨な事故が続けて2

件発生し、そのうちの一人は私と深い親交があり、悩みの相談にのっていた

だくなど、長年のお付き合いがある兄のような存在の方で、ショックは隠

せませんでした。さらに、私どもの地域は、金沢の表玄関とも言

える金沢駅を中心としており、コロナの制限解除

に伴い、観光客や外国人の通行が絶えることはありません。

駅前広場を自転車に乗車したまま通行したり、交差点の信号無視等、多くの違反も目につき危険を感じています。このこ

とから、少しでも私で役に立てることがあればと思ひ、お引き受けいたしました。

現在、委嘱先・地域の要請や登校時の児童の見守り指導が中心で、主要

交差点での朝の見守りは子ども達や通行人からの挨拶に元気をもらいやりがいを感じております。

最近、小学校から不審者情報のメールも増えてきており、推進隊が制服を着用して活動することで犯罪抑止につながれば

と思つて活動しています。交通推進隊は、地域の諸団体と比較しても住民が家で過ごす時間帯の活

動が多く、目立たない存在と感じており、此花支隊では、地域において加

盟諸団体と協賛した交通安全研修会の開催や、地域での交通安全対策が必要と思われる行事に参加しての交通指導、危険箇所の改善要請等、目に見える活動を行っています。

地域ぐるみの活動と連携



金沢東街頭交通推進隊 松ヶ枝支隊長

西 克 機

平成28年10月発行の公民館月報「まつがえ」に「街頭交通推進隊の急募、可能な曜日でも構いません。」という内容の記事が掲載

されており、私はこの記事が入隊のきっかけとなって隊員として委嘱を受けることになりました。

金沢東街頭交通推進隊の歴史は古く、昭和43年に発足していることを知つて、改めて緊張感を持つとともに、諸先輩方への尊敬の気持ちを感じています。

来年4月には小学校統合という重要な課題もあり、明成小学校・瓢箪支隊との意見交換を行うなど積極的に進めております。

今後も市内の推進隊の皆様のご意見を参考にしながら、住民からの信頼を得る活動を行い、交通事故を撲滅を目指します。

私が所属する松ヶ枝支隊は、現在4人の隊員が在籍していますが、隊員各自が職業を持っています。中々、お互いに助け合いながら、移転して新しくなった中央小学校付近の近世史料館前交差点において小学生や中学生を見守る街頭活動を行っています。

中央小学校は、令和4年4月から旧玉川こども図書館跡地に移転し、旧中央小学校跡地には本年4月から長町中学校が新

たに開校されるほか、中央小学校の横には新たに玉川こども図書館が建設され、近隣の玉川図書館や近世史料館があるなど、文教地区となっております。

松ヶ枝・芳斉・長土堀地区は、金沢市の中心部にあって交通量も非常に多い地域ですので、令和3年からは小学校関係者や各地区の連合町会長等も交えて「中央地区こども安全・安心会議」を年2回程開催し、中央小学校移転に伴う通学路の現場検証等に取り組んできました。

近世史料館前交差点では、11月頃になると日の出がだんだん遅くなり、晴れた日の朝7時45分頃には朝日で前方が見えづらくなり、走行する車からは通学児童の姿や信号機の信号灯火に気が付きにくい、危険な状態が起きま

す。また、中央小学校の直近であって通学児童も多く、なかには青色信号を渡ろうと急に走り出す通学児童もいて、ヒヤリとすることもあります。

そこで、金沢東警察署

の警察官と現場を確認して、危険防止方策を検討するなど行っていますが、私としては、信号機の信号灯火に時間差を設けるなど、システムを人に合わせて「人間がより安全に」、「道路をより安全に」

作り替えることで、交通事故を絶無とする社会的環境づくりに取り組んでもらい、交通事故が起きる前になんとか安全・安心に渡れる横断歩道にして頂くことを切望します。

結びになりますが、今まで街頭交通推進隊をやってこれているのも、登校する子供達の「明るい笑顔」と「おはようございます」の時は「いつもありがとうございます」の元気な声、また、巡回中のパトカーの警察官からの「お疲れ様です。よろしく願います。」との声などから、私達推進隊は大きなパワーと心強い励みを頂いています。あと何年続けられるかわかりませんが、地域の安全と事故のない街を願

い、取り組んでいきたいと思

広報塔で交通安全を願う



金沢東街頭交通推進隊 小坂支隊長

小嶋 外志夫

入隊して30年余り、昨年支隊長を任せられ、日々隊員と共に活動しております。

ご多分に漏れず、隊員の高齢化も進み、新隊員の確保も大切なことを把握しているところです。

ただ、近年、ボランティア志向が薄れがちなか、また、現役・退職された方々も定年延長で勧誘もままならないところでもあります。

この地域には、4つの学校に通う生徒・学生通学者あわせて5,000人が徒歩や自転車移動します。JR東金沢駅より山側への移動については、朝の時間帯はすさまじいものがあり、車・自転車・人が織りなす光景は、想像以上のものがあります。

私たちは、こんな状況下の中、安全と安心の一助になればと活動して

ります。

管内には、平成20年に新設した交通安全広報塔が神谷内交差点にあります。三面にスローガンを表示して、行き交う車両や歩行者に交通安全を訴えております。

また、塔の根元にはたぬき一頭と一匹の無事かえる(帰る)が共に皆様の安全を守ってくれております。

小坂小学校の児童600名に標語を募集して、最優秀作3点を選び決めることにしています。夏休みに制作し、新学期に提出してもらい選考し、10月を目処にお披露目します。

この交差点を通過の折にはどうか一度ご確認いただければ幸いです。

地域に根差した活動



金沢西街頭交通推進隊 西支隊長

平野 昭治

私達、西支隊は金沢駅西口から程近い西校下内の西公民館を拠点に街頭活動を行っております。

現在、支隊長を含めて4名で活動を行っており、仕事と兼務して小規模ながらやれる範囲で1人1人出来る事を受け持ち、各隊員は街頭指導に当たっております。

朝の立ち番で通学路の交差点に立って街頭指導を行っている際、「おはよう」と言う時「おはようございます」と木霊のように返って来る子供達の元気な声私達の原動力となって「よし、頑張るぞ」という気持ちにさせてくれます。

また、赤ランプ作戦で西念中交差点にて街頭指導に当たっていると、通

金 沢 西 隊 だ よ り

りすがりの方から「お疲れさん、ご苦労さん」と言われます。

さらに、小学校の立ち番のときに、かつて元気に挨拶してくれた子供達が中学生になり、学校での部活を終えて帰宅途中の姿を見ると、雨や寒い日に外で活動をしているも心が暖まり、疲れも飛んでいきます。

地域の行事も数多くあり、大きな行事になると校下または学校関係者から出勤要請の依頼があります。どの行事に行っても、顔見知りの子供達や大人の方に出会い、挨拶を交わしながら街頭指導に当たっております。

これからも地域(校下)の「安全・安心」を目指して微力ながらお手伝い出来るように努力していきます。

後になりましたが、私が西支隊に入隊した訳は

近所の知人に頼まれたこともありますが、別の訳もあって、当時、交通推進隊の制服や装備品に憧れての入隊でした。

平成2年に入隊して以降、平成31年4月に支隊長を拝命して今日に至り、改めて振り返りますと入隊してから33年の月日が

見せる活動が一番



金沢西街頭交通推進隊

米丸支隊 副支隊長

済田 和博

私が街頭交通推進隊に入隊して22年になります。

校下の防犯交通委員会からお誘いがあり、やってみようと思ったのがきっかけです。自分の出来る範囲内で良いと聞いたので一つ返事で「分かりました」と伝えました。

米丸校下は20年前から見ると、人口と交通量が増えています。

夕方になると市内の中心部から西インター方向へ行く車が多く、平日は渋滞しています。

流れました。

今こうしてペンを執りながら決意するのです。もうひと踏ん張り頑張ってみるか。...

結びになります。これからも地域に根付いた活動を心掛け、交通事故防止に頑張っていきます。

隊員になってからは、車の運転は以前より慎重になり、安全運転を心掛けて無事故無違反に努めています。

赤ランプ作戦では、特に自転車に乗った人と歩行者に注意を呼びかけています。横断歩道の信号が青になっても、すぐには渡らないで左右を確認してから渡って欲しいと伝えています。

校下の各種行事に参加したときは、参加した皆様に来るときよりも帰る

ときの事故が多いので安全運転をお願いしますと話しています。

交差点で推進隊がいるときは車が止まってくれますが、いないときは止まらない車を見かけます。先日、バスを降りた人が横断歩道を渡っていると、バスは止まっていたのですが、後から来た車がセンターラインを越え

子ども自転車教室に参加して



金沢西街頭交通推進隊

押野支隊副隊長

古源 彰

私は、金沢西街頭交通推進隊に入隊して5年目になります。

今回、金沢市神田交通公園で実施された押野小学校3年生自転車教室に始めて参加しました。少し暑い日でしたが公園は木々に囲まれ爽やかな風が通り抜けて木陰は心地良く感じました。

教室の指導員の方は、最初に子ども達に自転車の安全なブレーキの使い

て走行し、横断者のすぐ側を走行し、もう少しで事故になるところでした。事故にならないよう注意して活動します。

下校時の児童が歩いている時は特に注意して見えています。私は見せる活動が一番だと思います。自分の出来る範囲内で頑張りたいです。

方や正しいハンドル操作について教え、次に信号や標識の意味、そして左側通行などの基本的なルールを説明してました。また、ヘルメットの重要性、正しい着用方法についても学びました。

自転車事故のリスクを最小限に抑えるためにも、子ども達自身がヘルメット着用の大切さを理解して欲しいです。教室の指導員は非常に

経験豊富であり、子ども達に対し、とても分かりやすく説明してました。

説明後、公園のコースには横断歩道や信号、そして踏切等が設置されており、子ども達は3〜4人のグループになり、自転車に乗って練習することが出来ました。時々、私たちが子ども達に声掛けをするのと楽しそうに笑顔で答え、汗を流しながら元気に自転車に乗ってました。

私も子どもの頃、自転車に初めて乗れた喜びや乗れる楽しさ、快適性は今も記憶に残っています。子ども達は自転車に乗る楽しさで夢中になり、飛出しによる出会い頭の事故が発生しやすい年頃です。また自転車に乗る際は明るい色の衣服や反射材を身に付けさせること、夜間や悪天候時にはライトを早めに点灯させることで子ども達の可視性を高め事故を減らせます。

交通指導は一度だけではなく、継続的な復習と指導が必要であり、家庭でも子どもと交通安全に

ついてよく話し合い理解を深めることで安全意識を高めることが出来ると思います。

子ども自転車教室に参加して子どもの交通安全意識の向上、自転車の楽しさを体験しながら安全な使い方を学び将来的には、より安全な交通環境を築くためにも、このような教室は3年生の1回のみでなく、6年生まで行うことが交通ルールの大切さを学ぶ良い機会だと思います。私は子ども達の痛ましい事故を知るたび大変悲しい気持ちになります。今後も子ども達の事故防止のために支援をしていきたいです。



金沢市街頭交通推進隊隊員名簿

金沢市街頭交通推進隊連合会会長 豊蔵 享一

金沢中街頭交通推進隊

隊長 山二光三
副隊長 東本良幸
副隊長 橋場健次
支隊長 菊川進
支隊長 山下岸
支隊長 立野山
支隊長 南小立野
支隊長 新野立野
支隊長 兼六支
支隊長 小立野
支隊長 湯涌支
支隊長 中村支
支隊長 三馬支
支隊長 富樫支
支隊長 伏見支
支隊長 山二光三
支隊長 東本良幸
支隊長 橋場健次
支隊長 菊川進
支隊長 山下岸
支隊長 立野山
支隊長 南小立野
支隊長 新野立野
支隊長 兼六支
支隊長 小立野
支隊長 湯涌支
支隊長 中村支
支隊長 三馬支
支隊長 富樫支
支隊長 伏見支

金沢東街頭交通推進隊

隊長 英太郎
副隊長 西川光一
副隊長 小坂支隊長
支隊長 松ヶ枝支隊長
支隊長 長士支隊長
支隊長 芳支隊長
支隊長 長田支隊長
支隊長 瓢箪支隊長
支隊長 此花支隊長
支隊長 長町支隊長
支隊長 森山支隊長
支隊長 大浦支隊長
支隊長 馬場支隊長
支隊長 北鉄支隊長
支隊長 浅野支隊長
支隊長 英太郎
支隊長 西川光一
支隊長 小坂支隊長
支隊長 松ヶ枝支隊長
支隊長 長士支隊長
支隊長 芳支隊長
支隊長 長田支隊長
支隊長 瓢箪支隊長
支隊長 此花支隊長
支隊長 長町支隊長
支隊長 森山支隊長
支隊長 大浦支隊長
支隊長 馬場支隊長
支隊長 北鉄支隊長
支隊長 浅野支隊長

金沢西街頭交通推進隊

隊長 雄見信
副隊長 中喜濱隊
支隊長 大野支隊長
支隊長 三和支隊長
支隊長 米丸支隊長
支隊長 押野支隊長
支隊長 三和支隊長
支隊長 雄見信
支隊長 中喜濱隊
支隊長 大野支隊長
支隊長 三和支隊長
支隊長 米丸支隊長
支隊長 押野支隊長
支隊長 三和支隊長

令和5年8月末現在